



梅の開花を待つ・鎌倉瑞泉寺 (記事2面)

ゆり北

第188号 (17期第10号)

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

電話03(3938)9181番

発行責任者 吉 柳 俊 孝

粗大ごみ置場は施錠します

粗大ゴミ置き場に門扉を設置します。賃貸住宅では二月初めより工事に着手しています。分譲住宅についても、二月中に工事の発注をする予定とのことです。

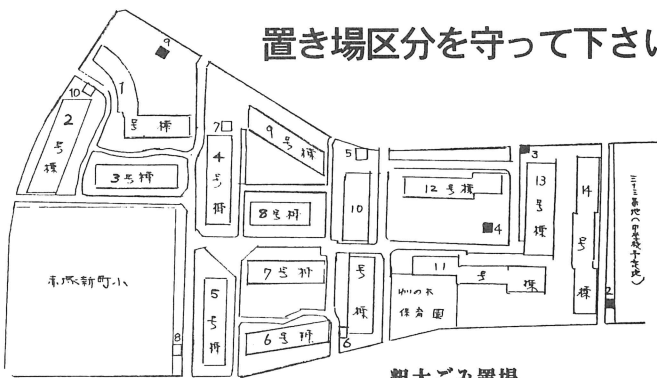
これは、外部からの投棄が非常に多くなったこと。住民にも引越、リフォームなどで発生した大量のゴミを無届けで投棄する事例が見られるためです。これらのごみの処理には、皆さんが支払う管理費(分譲)や共益費(賃貸)が使用され、本来の事業にも影響を及ぼします。

粗大ごみの出し方

- ①粗大ごみセンターに連絡する。
☎ 五二九六七〇〇〇
- ②住所・氏名・ごみの種類・数量
指定された処理券を購入する。
- ③よしや、やまさ書房、神勇酒店で販売しています。東京都発行の処理券は六月まで使えます。
- ④シールを貼って、処理日の直前に置き場に出す。
- ⑤鍵の施錠は工事終了から行ないます。利用方法については、改めて周知します。

ごみの回収ルール

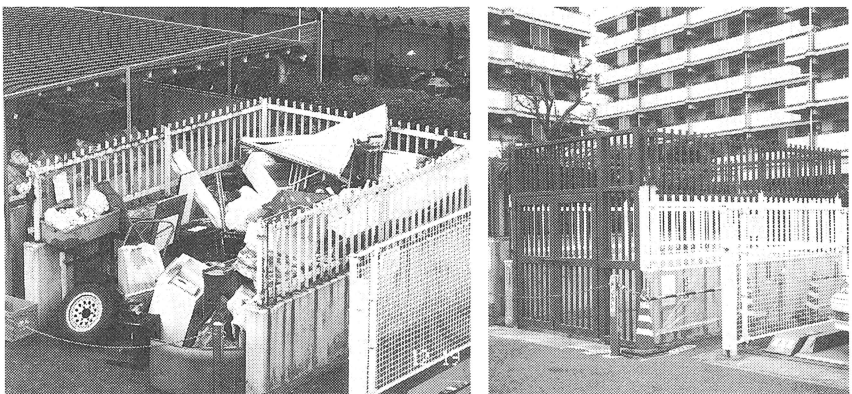
- 普通ごみ (可燃ごみ) 毎週 月・木
- 不燃ごみ 毎週 金
- 資源ごみ 古紙・ダンボール、布 毎週 月
- びん・缶 毎週 火



置き場区分を守って下さい

粗大ごみ置場
■2・3・4・9は賃貸住宅用
□5・6・7・8・10は分譲住宅用

- 1 ごみの分別をすすめましょう。紙類は資源に、塩化ビニール、プラスチックなど化学製品や金属、革製品は不燃ごみに。
- 2 古紙は、紐で縛ってだして下さい。ダンボール箱はたたんで紐で縛るか、ガムテープで留めてバラけないようにして下さい。
- 3 資源に出すびん・缶は、ゆすいで中をきれいに。油ものを入れたびん・缶や割れたびんは不燃ごみです。Rマークのびんはリターナブルです。酒屋さんで引き取ってもらえます。
- 4 アルミ缶は、ゆりの木会の回収箱に入れて下さい。
- 5 トレー、ペットボトル、牛乳パックは「よしや」の店頭回収。牛乳パック、乾電池は保育園前に回収箱があります。
- 6 自動車のバッテリー、タイヤ、消火器、プロパンボンベは粗大ごみとしても回収しません。メーカーに引取ってもらって下さい。



モラルなき粗大ごみ置き場 ～ ヘンシーン！

外壁補修・塗装、バルコニー防水工事

12・13・14号棟は3月着手

11号棟の早期着手を公団・区に要請します

昨年十一月より始まった、計画修繕工事(外壁補修および塗装、ドアや手すり塗装、バルコニー防水、階段すり取付けなど)は、第一期分として一号楼が終了しました。引き続き三月中旬過ぎから十二、十三、十四号棟の工事が行われます。

工事が始まりますと、約二ヶ月にわたり、工事用足場が架けられ、ネットが張られます。外壁洗浄や塗装、バルコニーの防水工事の期間はバルコニーの使用ができなくなり、室内換気や洗濯干しに支障が生じますが、建物の保全のためご協力下さい。また、BSやCSなどのアンテナは設置者の自己負担で一時撤去していただくこととなり、視聴ができなくなります。ご承知下さい。

また、十一号棟については板橋区との調整(保育園・児童館部分の工事)に手間取っており、十二年度の後半になるとの見通しです。自治会では、工事着手から二年以上になることについて、公団の不手際を指摘し、早期着手を要請します。

工事の日程や工事業者が決定したら、公団に住民説明を行わせるとともに、各戸への「おしらせ」の配布、掲示板の掲示などいろいろな方法で周知をいたします。配布物、掲示物にご注目下さい。

工事の担当は、都市基盤整備公団・東京支社・住宅保全課 ☎(五三三三) 二六四五です。工事に関する苦情処理の窓口についても決定次第お知らせします。

十八期総会は、四月二十三日(予定) 自治会に新しい力を

第十八期の自治会総会に向けて準備が始まりました。総会は、四月二十三日(日)を予定しています。総会に先立ち、役員選考委員会を設置します。各棟から一名ずつの選考委員を選出します。各棟の担当役員から依頼された方はご協力ください。

役員選考に一言

もつといういろいろな人に役員を経験してもらう方法はないでしょうか。現在の運営の仕方には、今までのやり方のなかから得られた、いい所があると思うのですが、意識的に考え

いでしょうか。私も役員を経験してみて、自治会は随分多岐な活動をしており、生活が平穩に過ごせているのも、日頃の活動の成果とも思います。活動が一部の人でも、他の人にはその成果が空気のような存在になっているように感じます。それはそれで無理のないやり方なのかも知れません。でも、まだまだ問題はあります。これからの問題に対応していくには、いろいろな人の参加があったほうが良いと思います。

まちの人と話していると「自治会は『自治会の人』がやっている」、

「自治会といえば『お祭り』と『文化展』」と思っていたりすることが判ります。

自治会の規約では、「専門部や実行委員会の委員に、会員を委嘱する」とありますが、現在は、役員がそのまま引受けており、その他の事でもなんでも役員がしています。自治会の活動の層が薄いので、こうならざるを得ないのででしょうか。

経験を持ちリードする人が必要であるとともに、いろいろな人が役員を引き受けやすくするには、幹事から三年程度で新しい人に引継ぐ努力をする。役員でなくなっても、行事の手伝いだけでなく、特技をいかして自治会活動に参加できることを、もう少し組織的に考えてもいいと思います。

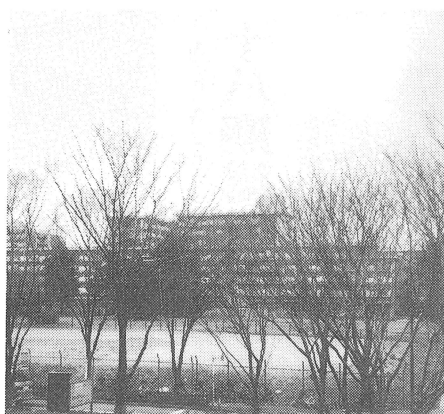
三十三番地対策

介護施設誘致に大賛成

私共がゆり北に入居したのは平成二年の空き家募集で五十倍以上の倍率でしたが、三年ほど前から無抽選になったそうで、その後も空き家が次々出ました。無抽選になった理由は、公団の民営化の発表に伴って、家賃がかなり高くなるだろうという報道があったからだと思っておりますが、実際に団地から転出された方たちの中には、年をとられてお子さんの家の近くに越されたり、親の親御さんの介護をするために、親御さんの近所に越された方がいらしています。また、年老いて足が弱くなつたご家族が、エレベーター無しからエレベーター付きに移られたケースもあり、住民の高齢化や老親の介護をする世代が多いことを切実に感じております。

私も、父がクモ膜下出血、脳内出血で倒れて約七年間、自宅介護を母としました。主人の母が九十歳で亡くなりましたが、亡くなる前の最後の病院（痴呆症病棟でしたが）で、童謡や演歌と一緒に歌うことを楽しみにしておりました。病棟内のレクリエーションで皆と一緒に歌う時だけ楽しそうにしておりました。私の母は現在八十歳で埼玉の古い公団住宅に一人暮らしをしており、団地内の老人会は年よりくさくさいやだとい。バスを乗り継いで、市民講座やコーラス、史跡巡りなどに出歩いています。しかし、ここ二、三年は狭心症のため、前ほど早足で歩けなくなり、コーラスや講座に通えなくなつたら、楽しみがなくなるとこぼしております。

ですから、「ゆり北」第一八七号にあったように、「中学校予定地」に高齢者用の介護関連施設を誘致してほしいという希望を以前から私も持っております。或いは住宅を建設するなら高齢世帯用住居を多く含む、低家賃の住宅を建設してほしいと思えますし、団地の住民が全体的に高齢化が進んでいるので、元気なお年寄りも、身体が衰えたお年寄りも、共に楽しんだり、リハビリができるような施設を是非とも建てていただきたいと思えます。会報に書かれていたようなメニューの他に図書室も加えていただければありがたいです。他に卓球やバドミントンなど、場所が狭くても運動できる部屋も作っていただければ、高齢者も生き生きとして、足腰が鍛えられると思います。私も近所に施設ができれば何かしらお手伝いができます。歌うことが大好きなので古い時代のヒット曲や童謡、シャンソンなどが得意なので、一緒に歌ったりお話し相手など。



33番地 (元・中学校建設予定地)

十一号棟 石川 英美

投稿

春を尋ねて

一月二十三日、正月気分も抜けた日曜日、早咲きの梅が咲いているかな、水仙はどうか、と鎌倉を訪ねました。まず、鶴が岡八幡宮の脇にある神奈川県近代美術館で「シャガールと二十世紀版画」展を見ました。今年は、あちこちで「シャガール」をやっていますが、版画では、この所蔵が一番だとか。「サーカス」「ラ・フォンテーヌ寓話集」などを観賞しました。私たちが絵本などで知っているお話もあり楽しめました。分館では彫刻家「柳原義達素描展」をやっていました。「シャガールと二十世紀版画」展の後期は三月二十六日まで、「ダフニスとクロエ」「出エジプト記」「ボエム」「悪童たち」などが見られます。

昼食は、美術館前にある「弥藤治」で、ヘルシーな和食をおいしく食べました。天候が崩れるとの予報でしたが、持ちそうなので、建長寺の半

僧坊から鎌倉天園ハイキングコースに足を延ばしました。紅い椿の花が苔におちているのを見ながら、半僧坊のきつい石段を昇ります。展望台からは雲間から光が差し込んだ相模湾や、森に包まれた鎌倉の町並みなどを堪能しました。ここから少し登ったり、下つたりと、おおむねならかな道が続きます。昔のお墓である「やぐら」も沢山あります。繁殖し過ぎて問題になっていて「台湾リス」にも出会います。約二時間で、花のお寺瑞泉寺に着きました。花にはちょっと早かったのか水仙が少々と梅の花はチラホラというぐらいでした。福寿草もまだ見当たりませんでした。

この原稿が日の目を見るころが、丁度よい見頃になるでしょう。雨が降りはじめたので、甘味処で田舎汁粉をすすり、春を訪ねる小さな旅を終わりました。

「K記」

安倍 敏 陽

物心がついた時には、鉄道が大好きだった。聞いた話では、布団に寝かしつけると泣くので、やむなく祖母が背負って、歩いて五分程の国鉄（今のJR）東海道本線にいくと嬉々としていたが、寝不足で頭が大きくなったとも言われた。小さな男の子の鉄道好きは良くある話だが、それが四七年も続くとなれば変わっているのかもしれない。

ところで、なぜ鉄道好きかと聞かれても答えは良くわからないが、なぜか国鉄の黄金時代（昭和三十年代）の特別急行の食堂車や寝台車に胸をときめかし、憧れは一九五〇年代のアメリカの特別急行に行き着く。それは父が二年掛かりで小学四年の私に揃えてくれた、今でも大切にしている日本語で書かれた欧米鉄道写真集六冊（昭和三十七年当時一冊八〇〇円）で知ったもので、二階建ての展望車と食堂車、コーヒーラウンジ、理髪店、一人

用寝室、二人用寝室など、まさに動くホテルといった列車。当時、テレビや映画で見るアメリカの生活に憧れる人は多かったが、私の場合は静岡から東京へ行くのにも普通列車を使うような日常生活とはとてもかけ離れた、豪華列車の生活に憧れたようだ。

それにしても長く趣味を続けてこれたのは、母が手続きをして、昭和三八年の設立と同時に入会した鉄道友の会静岡支部を抜きにしては語れない。東京支部のような大所帯とは異なり、会員数七十名程で国鉄・私鉄ともに活動に理解があつて、鴨宮（神奈川県）新幹線モデル線区での試作電車による時速二百キロ運転への添乗、こだま型特急電車、蒸気、電関の添乗、また軽便鉄道や森林鉄道への訪問を通じて、私は唯一の小学生会員であつたが、中学生のお兄さん達だけではなく、大人の皆様も同じ趣味の仲間とし

て付き合つて下さつて、とても楽しい少年時代を過ごすとともに、それまで甘やかされて育つてきた私に、自然と社会生活を見につけさせてくれたことに今でも大変感謝している。

ただ昨今残念に思うことは、新聞紙上等で鉄道マニアの仕業といった記事を読むたびに肩身が狭くなることで、私は鉄道応援団と考えているので、例えば写真撮るにしても、安全輸送の妨げにならないか、乗客の通行を妨害しないか等を確認し、プラットホームに三脚を置くなど問題外で、沿線で写真を撮る際にも、田畑に入らないことは常識で、鉄道用品を盗るなど泥棒にはかならない。これは鉄道趣味特有の問題ではなく、社会常識、家庭のしつけの問題であることを、皆様に理解していただきたい。

がんばるノースレンジャーズ

ゆりの木ノースレンジャーズ（以下、NR）はゆり北団地居住者を中心とする草野球チームです。一昨年のチーム結成以来、「古豪」帝京（中学一年生チーム）、「強豪」エンゼルズといったライバルチームと対戦を重ねてきました。

去る二月十三日（日曜日）には、お隣のむつみ台団地ソフトボールチームと親善試合を行いました。相手チームのウォーミングアップを眺める吉柳監督、塩原助監督の表情は厳しく、相手チームが相当の実力であることが伺えます。一方のNRは、エースの植竹（十号棟）が腰痛の上、当日に首を寝違えるアクシデント。しかも攻守の要、ショートストップ菅原（十号棟）が風邪で発熱しており、最悪の状態です。

しかしながら、先攻のNRは、初めに猛打が爆発し、5点を先取。この勢いに乗り、2回以降もヒットを重ね、結局27対8でNRの大勝となりました。試合の後、会場を十二号棟集会所に移し、両チームの親睦を図りました。ここでは両チーム互角で、ビールを片手にスポーツ談義に花を咲かせました。又、むつみ台自治会役員でもある、むつみ台ソフトボールチーム監督の森さん等とは、介護保険の話もできました。

両チームのメンバー同士が親しくなり、更には、夏祭り、環境整備や防犯等の面で、今まで以上に協力し合っている関係が築ければ、と考えています。そうならば、NRのメンバー一同、活動の楽しさも倍増です。我がノースレンジャーズに対する応援を宜しくお願い申し上げます。参加いただける方は上野（一号棟）または菅原（十号棟）までお申出下さい。